

昨年度の行政はどうだったのか？

監査委員の審査とは、町長から提出された決算書・関係調査などを、以下の項目でチェックすることです。

- ①決算計数は正確で誤りはないか。
- ②予算は、関係法令に基づき効果的かつ的確に執行されているか。
- ③収入支出事務は、関係法令に基づき、計画的、効率的に処理されているか。
- ④財産は適正に管理運営されているか。

監査委員の指摘

代表監査委員 松本正博
議会選出監査委員 鹿島 功

①ごみ袋代金紛失事件以来、職員の意識改革をしていると報告を受けていたが、中山支所総合窓口課で、公金横領事件が発覚した。

住民の行政に対する不信任感は増大している。公金の管理を徹底し、不祥事の根絶に努力すること。

②未収金は約6億円。徴収努力の結果、減少している未収金もあるが、多くは横ばいか増加傾向。平成22年度は、新たな未収金が発

生しており、その対策と未収金総額の抑制をすること。

③滞納対策室は以前に比べ、各課との連携不足が感じられる。体制を再度検討すること。

④農産物処理加工施設は、「農産物の多用途利用・高付加価値化による生産者の所得向

上」という目的をはたしていない。農家所得の向上になる施設運営をすること。

⑤旧3町で異なる水道料金統一などの課題は、平成29年度に解消されることとなった。開拓専用水道は課題があるので、早期にその方針を決定すること。

議会の指摘 決算審査特別委員会

①交付税は合併による優遇期間の終了で、やがて縮減される。健全かつ安定した財政運営をすること。

②約6億円ある未収

金総額の抑制と新たな未収金の発生防止に取り組むこと。

③農産物処理加工施設は、生産者の所得向上に結びついていない。大山恵みの里公社を指導すること。

④水道料金統一は順調に進んでいるが、開

拓専用水道の課題解決に向け、今後の方針を早急に決定すること。

⑥大山診療所の医師の確保は、困難である

と報告を受けているが、引き続き固定医の確保に努力すること。

⑦山香荘は、食中毒の発生や無許可営業の発覚により、利用者が減少している。今後、この施設の運営方針の確立と経営の改善に努力すること。